

令和6年12月15日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」 茨城県代表チームが優勝

JST（理事長 橋本 和仁）は、令和6年12月13日（金）から12月15日（日）までの日程で開催した「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」（開催場所：アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター））において、茨城県代表チームが優勝したと発表しました。

「科学の甲子園ジュニア全国大会」は、全国の中学生が科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義や楽しさを実感できる場の提供を目的として、平成25年に創設されました。

本大会の予選となる都道府県大会には、総計25,772人の中学生がエントリーしました。全国大会では、各都道府県から選出された6人が1チームとなり、合計47チーム、282人が、理科や数学などの複数分野に関する知識とその活用能力を駆使してさまざまな課題に挑戦しました。

筆記競技、実技競技2種目の得点を合計した総合成績により、茨城県代表チームが優勝、千葉県代表チームが第2位、東京都代表チームが第3位となりました。そのほか、産学官の連携による科学技術系人材育成を推進する企業賞を含む、全ての成績については別紙をご参照ください。

「第13回科学の甲子園ジュニア全国大会」は、令和7年12月中旬に、兵庫県姫路市にて開催される予定です。

JSTでは、発達段階に応じて児童・生徒の才能を伸ばせるよう体系的な人材育成を推進しています。今後も「科学の甲子園ジュニア全国大会」を始めとする事業の実施を通じて、科学好きの裾野を広げ、児童・生徒が才能を十分に発揮し、切磋琢磨する機会を提供していきます。

大会の概要や出場チームなどの詳細は、下記ホームページを参照してください。

ホームページURL：<https://koushien.jst.go.jp/koushien-Jr/>

<添付資料>

別紙：「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」成績一覧

参考1：「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」都道府県代表チーム一覧

参考2：「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」協働パートナー一覧

<科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」成績一覧

競技・成績	基準	都道府県名
総合成績 第1位 文部科学大臣賞 トヨタ賞	筆記、実技競技の総合得点順	茨城県
総合成績 第2位 科学技術振興機構理事長賞 日本理科教育振興協会賞		千葉県
総合成績 第3位 兵庫県教育長賞 ひょうご科学技術協会賞		東京都
総合成績 第4位 姫路市長賞 エムス・テック賞		愛媛県
総合成績 第5位 日本科学協会賞		埼玉県
筆記競技 第1位 UBE三菱セメント賞	筆記競技の最高得点	千葉県
筆記競技 第2位 内田洋行賞	筆記競技の第2位	茨城県
筆記競技 第3位 リソー教育賞	筆記競技の第3位	愛媛県
実技競技① 第1位 東芝賞	実技競技①の最高得点	茨城県
実技競技① 第2位 学研賞	実技競技①の第2位	愛媛県
実技競技① 第3位 スリーエムジャパン賞	実技競技①の第3位	山梨県
実技競技② 第1位 SHIMADZU賞	実技競技②の最高得点	埼玉県
実技競技② 第2位 ケニス賞	実技競技②の第2位	東京都
実技競技② 第3位 ジー・サーチ賞	実技競技②の第3位	沖縄県
企業特別賞 帝人賞	女子生徒応援賞：女子3名以上を含むチームのうち、総合成績最上位のチーム	茨城県
企業特別賞 ナリカ賞	フレッシュマン応援賞：1年生を含むチームのうち、総合成績上位チーム	北海道
企業特別賞 テクノプロ賞	実験スキル賞：実技競技①で優れた実験技術を発揮したチーム	山形県
企業特別賞 スカパーJSA T賞	工作デザイン賞：実技競技②で優れたデザインを開発したチーム	群馬県

競技・成績	基準	都道府県名
総合成績 第6位	筆記、実技競技の総合得点順	宮崎県
総合成績 第7位		北海道
総合成績 第8位		大分県
総合成績 第9位		神奈川県
総合成績 第10位		沖縄県
筆記競技 第4位	筆記競技の得点順	奈良県
筆記競技 第5位		広島県
実技競技① 第4位	実技競技①の得点順	千葉県
実技競技① 第5位		東京都
実技競技② 第4位	実技競技②の得点順	宮崎県
実技競技② 第5位		北海道

「第 12 回科学の甲子園ジュニア全国大会」都道府県代表チーム一覧

都道府県	学校名
北海道	北嶺中学校、函館ラ・サール中学校
青森県	八戸市立長者中学校
岩手県	盛岡中央高等学校附属中学校、盛岡市立見前中学校
宮城県	宮城県古川黎明中学校、角田市立角田中学校
秋田県	北秋田市立鷹巣中学校、由利本荘市立本荘東中学校
山形県	山形県立東桜学館中学校
福島県	会津若松ザベリ才学園中学校、郡山市立西田学園
茨城県	茨城県立日立第一高等学校附属中学校、茨城県立並木中等教育学校
栃木県	栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校
群馬県	東京農業大学第二高等学校中等部、群馬大学共同教育学部附属中学校
埼玉県	埼玉県立伊奈学園中学校、川口市立高等学校附属中学校
千葉県	市川学園市川中学校
東京都	東京都立小石川中等教育学校、渋谷教育学園渋谷中学校
神奈川県	栄光学園中学校、聖光学院中学校
新潟県	新潟大学附属長岡中学校、新潟明訓中学校
富山県	片山学園中学校、富山市立水橋中学校、南砺市立吉江中学校、 富山市立新庄中学校、富山大学教育学部附属中学校
石川県	加賀市立山代中学校、七尾市立能登香島中学校
福井県	福井県立高志中学校、鯖江市東陽中学校
山梨県	山梨大学教育学部附属中学校、北杜市立甲陵中学校
長野県	長野県屋代高等学校附属中学校、長野県諏訪清陵高等学校附属中学校 松本市立鎌田中学校、松本秀峰中等教育学校
岐阜県	瑞穂市立巢南中学校、関市立津保川中学校
静岡県	静岡大学教育学部附属島田中学校、沼津市立大岡中学校
愛知県	知立市立竜北中学校
三重県	高田学苑高田中学校
滋賀県	滋賀県立守山中学校、高島市立湖西中学校
京都府	京都市立西京高等学校附属中学校、京都府立洛北高等学校附属中学校
大阪府	高槻中学校、大阪教育大学附属池田中学校
兵庫県	市川町立市川中学校、明石市立大久保中学校
奈良県	東大寺学園中学校
和歌山県	和歌山県立桐蔭中学校

都道府県	学校名
鳥取県	倉吉市立東中学校、鳥取大学附属中学校
島根県	島根大学教育学部附属義務教育学校
岡山県	岡山県立岡山操山中学校、岡山県立岡山大安寺中等教育学校
広島県	広島学院中学校、広島県立広島中学校
山口県	山口大学教育学部附属山口中学校
徳島県	鳴門教育大学附属中学校、徳島文理中学校
香川県	大手前高松中学校、香川大学教育学部附属高松中学校、高松市立古高松中学校
愛媛県	愛光中学校
高知県	宿毛市立片島中学校、土佐中学校
福岡県	久留米大学附設中学校、大牟田中学校
佐賀県	佐賀県立唐津東中学校、佐賀大学教育学部附属中学校
長崎県	長崎大学教育学部附属中学校
熊本県	熊本県立玉名高等学校附属中学校
大分県	平松学園向陽中学校
宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校、都城市立小松原中学校
鹿児島県	鹿児島大学教育学部附属中学校
沖縄県	沖縄県立球陽中学校

「第 1 2 回科学の甲子園ジュニア全国大会」協働パートナー一覧
(5 0 音順)

No.	協賛企業・団体
1	株式会社内田洋行
2	株式会社エムス・テック
3	株式会社学研ホールディングス
4	ケニス株式会社
5	株式会社ジー・サーチ
6	株式会社島津製作所／株式会社島津理化
7	スカパー J S A T 株式会社
8	スリーエムジャパン株式会社
9	帝人株式会社
1 0	テクノプロ・グループ
1 1	株式会社東芝
1 2	トヨタ自動車株式会社
1 3	株式会社ナリカ
1 4	公益財団法人日本科学協会
1 5	公益社団法人日本理科教育振興協会
1 6	公益財団法人ひょうご科学技術協会
1 7	UBE三菱セメント株式会社
1 8	株式会社リソー教育

No.	応援企業・団体
1	サントリーホールディングス株式会社
2	スクールサポート株式会社
3	公益財団法人日本発明振興協会